

地域みんながー丸となって明るいまちづくり

光明地区内のあちこちにのぼり旗が見られます。
この旗は、光が丘中学校区青少年健全育成会が作製したものです。
地域の住民や小中学生を対象に標語を募集した中で、優秀な作品を
のぼり旗にし、各自治会で掲揚しています。

下記の標語は、最優秀賞を受賞した光明小学校・光が丘中学校の生徒等の作品です。

- 一般
 - 笑顔よぶ 朝のあいさつ 元気よく
 - だれにでも 笑顔とどける あいさつを
 - 一年 村上 虹空
- 小学校低学年
 - とどけよう 明るいあいさつ わたしから
 - あいさつは みんなをなかよくすることば
 - 一年 梅林 花汰
- 小学校高学年
 - あいさつは 友達つくる パスワード
 - 挨拶は 笑顔を咲かす すこい種
 - 五年 佐々木雅也
 - 六年 竹内 海晴
- 中学校
 - おはようは 笑顔飛び交う 街作り
 - 笑顔の輪 街をつなごう 挨拶で
 - 二年 西尾 美紅
 - 三年 磯部 美羽

船明自治会 鈴木 忠美



給食ボランティア(やまゆり会)に参加しませんか

やまゆり会の皆さんがおいしいお弁当を作り、地域の一人暮らし高齢者の中で希望する方々に有料(1回250円)でお届けしています。

季節の便りも一緒にお届けしています。地域の民生委員さんにご相談ください。

お弁当作りや配達をしていただきます。

女性の会員が多いですが、配達をしてくださる方の中には男性もいます。

和気あいあいとしたグループです。是非1度見学に来てください。



活動は、月2回 毎月10日・20日 午後1時から3時間程度(7、8月は休みです)

活動場所は、光明ふれあいセンター料理室です。



地区社協活動の記録

発行/令和6年10月
浜松市天竜区
光明地区社会福祉協議会
会長 中谷 雄一

光明地区社会福祉協議会

目的

光明地区の住民が「安全で安心して暮らせる明るい住みよい町づくり」をめざして心豊かに
支え合い・助け合う地域福祉活動を展開し、住民福祉の向上につとめる。

令和6年度役員

会長 中谷雄一 副会長 太田泰司郎(連合自治会長)・鈴木賢一(民生委員児童委員代表)

このほか光明地区のそれぞれの自治会長・民生委員の代表者・幼小中の校長先生・ふれあいセンター活動推進協議会・やまゆり会・日赤奉仕団・各地区で活躍のサロン代表者等の皆さんで構成しています。

運営費(令和5年度)

浜松市社会福祉協議会からの補助金(令和5年度は、約93万3千円)

地区社会福祉協議会の運営費補助金・推進事業補助金として地区内の人口等を基に算出した金額が交付されます。

また、推進事業基本補助金として事業の実施状況により算出された金額やサロン活動を実施している団体数に対し交付されます。(元年度からそれぞれのサロンに、2万円が交付されます。)

なお、浜松市からの直接補助金が無くなり、社会福祉協議会補助金に合算され交付されるようになっています。

会費(令和5年度は、44万7千円)

光明地区社会福祉協議会会費としてそれぞれの自治会から1世帯当たり100円
浜松市社会福祉協議会の会費として100円 合計200円納付していただきました。

その他の収入(令和5年度は、96万9千円)

雑収入(15万9千)は、体験講座や視察研修の参加費と前年繰越金(81万円)が主なものです。

(令和5年度は、154万2千814円)

ボランティア活動推進事業	264,550円
安全安心事業	85,504円
地域交流事業	672,640円
地域福祉啓発	64,792円
浜松市社会福祉協議会会費等	243,730円
広報事業	131,533円
事務用品・会議費等	80,065円



収入の部の主なもの

支出の部の主なもの



ボランティア活動推進事業

ボランティア視察研修



安全安心事業

一人暮らしの高齢者等にお弁当をお届けしています



光明地区のサロン活動

水ヶ谷

お楽しみ会
毎月第1・3金曜日

下百古里

ほほえみの会
毎月第4金曜日

相生

おしゃべり茶屋
毎月第1・3木曜日

栄町

意気意気サロン
毎月第3火曜日

山王

樂笑サロン
毎月第4木曜日

八幡

さえずりの会
毎月第4木曜日
毎月第3金曜日

大谷

リフレッシュサロン
毎月第4金曜日

船明

いきいきサロン
毎月第1土曜日

北嶺

北嶺さわやかサロン
毎月第4水曜日

地域交流事業

ふれあいコンサート



子供体験講座



地域福祉啓発

福祉啓発活動に相応しい内容の落語独演会を開催しました



今年から北嶺自治会に「北嶺さわやかサロン」が誕生しました
各サロンの代表者等が集まり情報交換会を開催しています

それぞれの自治会でにぎやかに開催されています。

主に元気な高齢者の集まりです。

家に閉じこもりがちな方は是非一度見に行ったらどうでしょうか？

サロン風景



光明地区

たすけ・助けられる

年齢・経験は
問いません

地域の「たすけあい活動」の仕組みを



一緒に考えてくれる仲間

大募集!

令和5年度光明地区（鏡山エリアは令和3年度実施）全世帯を対象に、
「生活アンケート」を実施させて頂きました。

「地域のたすけあい活動」についての項目では、

◎将来自宅で生活をするときに不安を感じること

- ☆歩いて買い物に行ける所がない
- ☆庭の草取り
- ☆届いた書類の内容が分からないこと
- ☆電球、蛍光灯の交換
- ☆話し相手がいない



◎もし地域の中で助け合い活動がはじまったら
あなたが手伝えそうなこと

- ☆話し相手
- ☆ゴミ出しの手伝い
- ☆買い物の代行
- ☆庭の草取り

など具体的な項目が見えてきました。



実際に活動を進めていくためには、「**仕組みやルールがあり、利用する人と活動する人を調整する人**」が欲しいという声もありました。

そこで、光明地区社会福祉協議会では、地域で生活する誰もが、安心して生活を続けていくために「**地域のたすけあい活動**」の仕組みを**作っていきたい**と考えています。

この「地域のたすけあい活動」について

やり方などを一緒に考えてくれる地域の方を大募集!!

11月25日(月)までに
電話もしくは、QRコードで

お申込みください

☆お問い合わせ先☆

光明地区社会福祉協議会

926-0322

(浜松市社協天竜地区センター 担当：永井)



浜松市内では、**地区社会福祉協議会**が**56**地区あります。

そのうち**37**地区社会福祉協議会で、

地域たすけあい(家事支援)活動を実施しています。

地域たすけあい(家事支援)活動とは、地域に暮らす方が安心して暮らせるよう、生活の中の困り事を「助け合い活動」で支援する有償ボランティア活動です。

(活動に必要な経費や活動に対する謝礼が支払われるボランティア活動)



ご近所のたすけあいで既にできていることも多いけれど、

→ご近所だからこそ頼みづらいこともあるかもしれない・・・。

お互い様とは言っても、頼むからにはお返しをしたい。

→だけれど、どうやってお返しをすればいいのか分からない・・・。

地域のたすけあいを

ちょっと後押しするのが“地域たすけあい活動”



利用者、活動内容、利用料などは地域毎にいろいろ！

地域にあった内容をそれぞれ実施しています



天竜区内では下阿多古地区社協、龍山地区社協が行っています。

地域の人からの依頼は月に2、3件。買い物支援やごみ出し、草取りの依頼が多い。

支援をきっかけに、普段から声をかけあう関係となり、地域の人とつながったとの声も頂いております。